

試験番号：IVA-20-0141

受付日：2020年 8月 27日

報告日：2020年 9月 8日

緩衝材裏打ち天然木化粧単板張り合板床の
床衝撃音レベル低減量試験
報 告 書

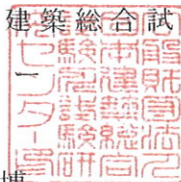
大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号

一般財団法人 日本建築総合試験所

試験研究センター

センター長

工学博士 川瀬 博



報告書発行責任者

環境試験室長

小早川 香

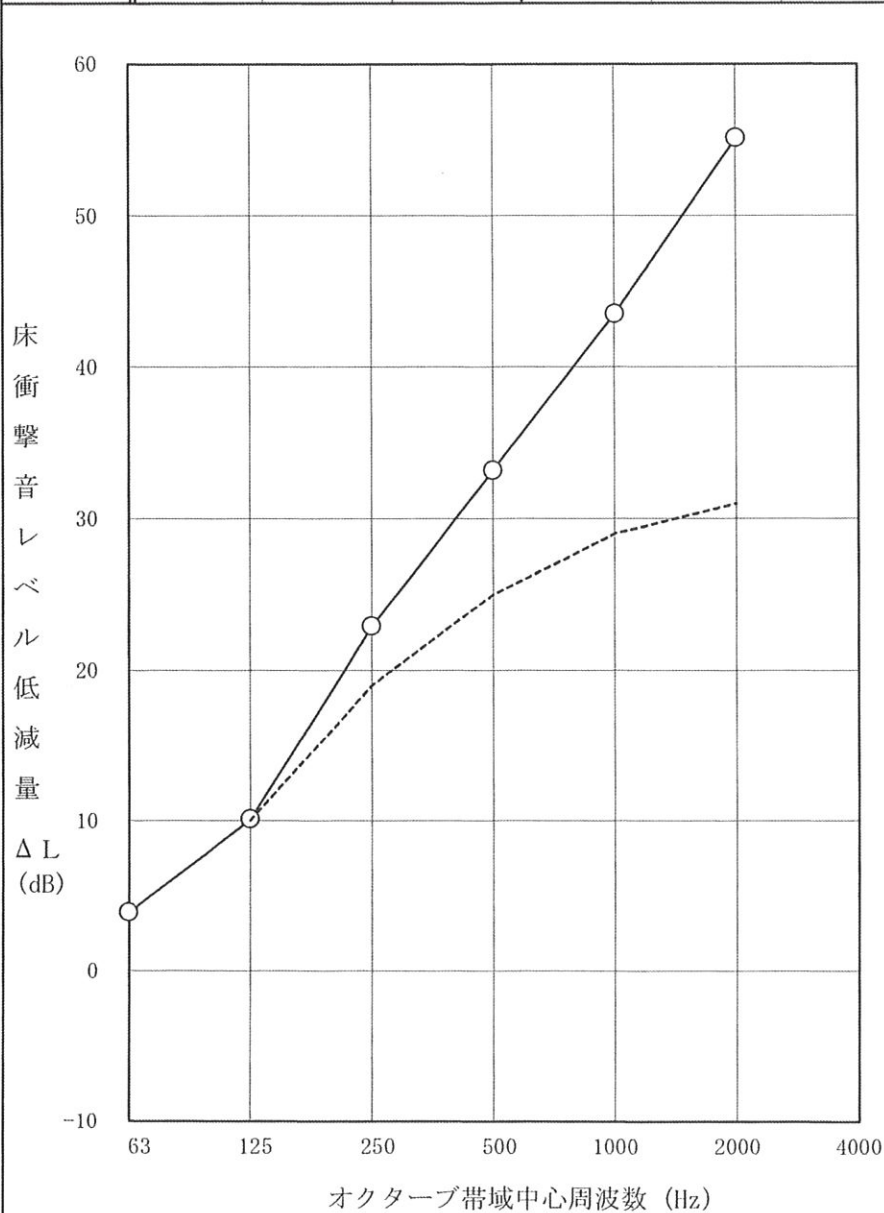


依頼者	会社名	矢島木材乾燥株式会社		
	所在地	秋田県由利本荘市矢島町七日町字 下山寺42-2		
試験体	品目名	緩衝材裏打ち天然木化粧単板張り合板床		
	商品名※	アトランティス SOUND PROOF		
	製造年月日※	2020年 8月 21日	ロット番号※	—
	試験体寸法	W 2727 mm × L 1820 mm × T 14.5 mm (単体寸法 w 140 mm × ℓ 909 mm)		
	断面構成※ (上面側より)	天然木化粧単板 : 厚2 mm 合板(鋸溝加工) : 厚8.5 mm ポリエステル系不織布シート : 厚4 mm		
	幅木※	—		
	備考	<ul style="list-style-type: none"> 試験体の詳細を別図1に、外観を写真1に示す。 試験体の固定にはウレタン系接着剤を用いた。そして測定までの3時間、試験体全面に合板(24kg/m²)を載せて養生した。 ※依頼者情報による。		
試験方法	以下の規格および指針に基づき、試験を実施した。試験装置の概要を図1に示す。 <ul style="list-style-type: none"> JIS A 1440-1:2007「実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法—第1部：標準軽量衝撃源による方法」 JIS A 1440-2:2007「実験室におけるコンクリート床上の床仕上げ構造の床衝撃音レベル低減量の測定方法—第2部：標準重量衝撃源による方法」 (財)日本建築総合試験所「床材の床衝撃音低減性能の等級表記指針」(2008年3月) 			
試験結果	試験結果の詳細を表1に示す。床衝撃音低減性能の等級は以下のとおりである。			
	標準軽量衝撃源 (タッピングマシン)	Δ L L (I) - 4		
	標準重量衝撃源(1) (タイヤ衝撃源)	—		
試験年月日	試験体無：2020年8月24日(音源側：31℃、55%RH、受音側：25℃、70%RH) 試験体有：2020年8月28日(音源側：30℃、60%RH、受音側：25℃、70%RH)			
実施場所	一般財団法人 日本建築総合試験所 第2残響室・第4残響室 (所在地：大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号)			
担当者	試験研究センター 環境部 環境試験室 試験責任者：笠井 祐輔、試験担当者：川谷 翔二			

以上

表1 床衝撃音レベル低減量試験結果

中心周波数 (Hz)	床衝撃音レベル (単位: dB)								
	タッピングマシン			タイヤ衝撃源			ゴムボール衝撃源 (参考)		
	試験体無	試験体有	低減量 ΔL	試験体無	試験体有	低減量 ΔL	試験体無	試験体有	低減量 ΔL
63	63.3	59.4	3.9						
125	63.3	53.2	10.1						
250	69.8	46.9	22.9						
500	73.1	39.9	33.2						
1000	74.6	31.1	43.5						
2000	76.3	21.2	55.1						
4000	76.7	17以下	—						



備 考

- ・厚150mmのコンクリート製標準床を用いた試験結果である。
- ・試験終了後の試験体に損傷などの異常は認められなかった。
- ・試験体表面温度：29℃

凡例

—○— タッピングマシン

----- ΔLL(I)-4